

株式会社 明電舎

**平成27年3月期
第2四半期決算説明会**

平成26年11月6日

取締役社長
浜崎 祐司

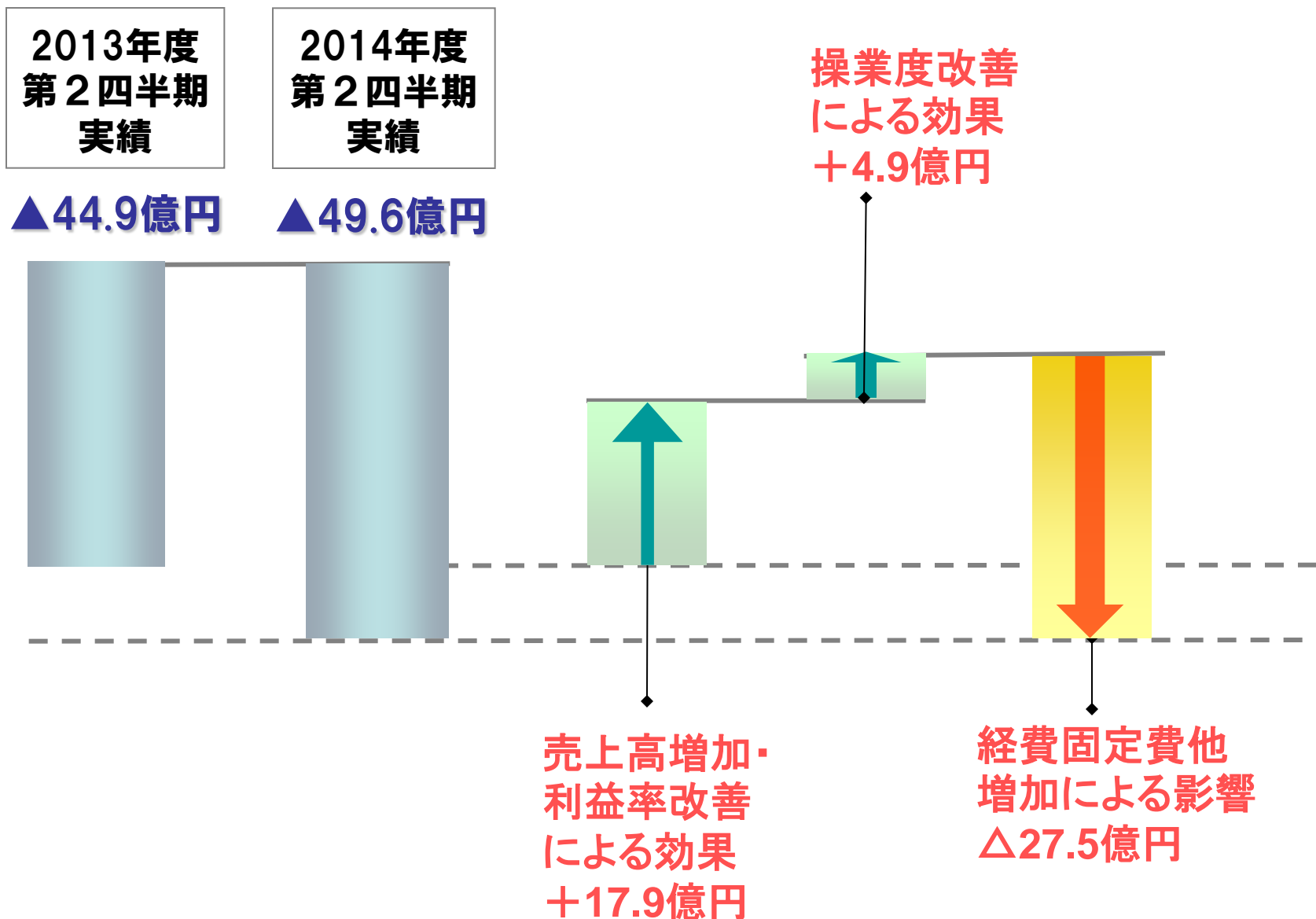
2014年度第2四半期 連結損益計算書

単位：百万円

	2013年度 第2四半期 実績(A)	2014年度 第2四半期 計画(B)	2014年度 第2四半期 実績(C)	対前年増減 (C-A)	計画値差異 (C-B)
受注高	106,238		108,113	1,875	
売上高	73,364	80,000	79,079	5,715	△921
営業利益	△4,498	△4,200	△4,969	△470	△769
経常利益	△5,304	△5,000	△5,098	205	△98
当期純利益	△3,429	△3,500	△3,300	129	200
設備投資額	4,731		3,826	△905	
減価償却費	4,028		4,067	38	
研究開発費	4,239		4,937	698	

連結子会社数・・・38社 持分法適用会社数・・・2社

営業損益の主な増減要因（前期比）



	2013年度 第2四半期末	2014年度 第2四半期末	対前年増減
総資産	219,803	232,322	12,518
流動資産合計	119,653	125,791	6,138
固定資産合計	100,150	106,530	6,380
負債合計	163,513	179,229	15,715
(有利子負債)	(54,339)	(48,220)	(△6,119)
純資産合計	56,289	53,092	△3,196
(株主資本)	(48,485)	(50,400)	(1,915)
(その他の包括 利益累計額)	(6,808)	(1,644)	(△5,163)
(少数株主持分)	(995)	(1,046)	(51)
自己資本比率	25.2%	22.4%	△2.8%

単位:百万円

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
営業活動における キャッシュフロー	10,169	10,202	32
投資活動における キャッシュフロー	△4,919	△4,034	885
財務活動における キャッシュフロー	△4,392	△8,000	△3,607
現金及び現金同等物に 係る換算差額	372	△88	△460
現金及び現金同等物の 増減額	1,229	△1,920	△3,150
現金及び現金同等物の 期首残高	7,483	11,117	3,634
現金及び現金同等物の 期末残高	8,712	9,199	486

セグメント別売上高・営業損益

6/16

単位:百万円

		2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
社会システム	売上高	44,055	43,652	△403
	営業利益	△2,449	△3,943	△1,494
産業システム	売上高	18,190	23,868	5,677
	営業利益	△1,069	434	1,503
エンジニアリング	売上高	8,827	9,327	500
	営業利益	△1,031	△968	62
不動産	売上高	1,642	1,643	1
	営業利益	589	637	48
その他	売上高	11,554	9,571	△1,982
	営業利益	276	20	△255
全社又は消去	売上高	△10,906	△8,984	1,922
	営業利益	△814	△1,149	△335
合 計	売上高	73,364	79,079	5,715
	営業利益	△4,498	△4,969	△470

社会システム事業分野

■工事を含めたシステムでの受注が多く、納期が比較的長いことが特徴

主なお客様: 国内外の電力会社・官公庁・鉄道・民生ビル・工場



主な製品・サービス: 発電設備、水力発電設備、変電・配電設備、
鉄道向け直流変電設備、電力品質安定化設備、
太陽光発電・風力等再生可能エネルギー向け設備

主なお客様: 地方自治体の上下水道分野、民間工場廃水

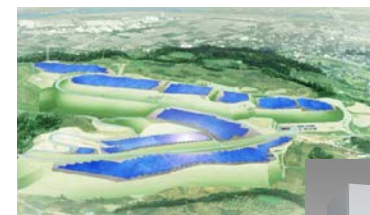


主な製品・サービス: 各種処理場向け電気設備、浄水場の維持管理業務

社会システム事業分野

単位：百万円

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
受注高	65,426	59,613	△5,813
売上高	44,055	43,652	△403
営業利益	△2,449	△3,943	△1,494
設備投資額	1,818	1,188	△629
減価償却費	1,575	1,556	△18
研究開発費	1,837	2,200	362



【受注】

- ・水力発電関連は増加するも太陽光発電関連の減少、及び2014年度海外大口案件の下期へのずれによる減少

【売上】

- ・太陽光発電関連の下期へのずれによる減少

【営業利益】

- ・2013年度の海外大口案件が高採算であったことに加え、経費固定費他の増加の影響により悪化

産業システム事業分野

■単年度で納入する製品が多いが、自動車試験装置など一部納期が年度をまたぐ案件もある

主なお客様: 一般産業、自動車など製造業



主な製品・サービス: 産業・電気自動車用モータ・インバータ、
試験装置(ダイナモメータ等)、物流システム

主なお客様: 半導体製造装置メーカー

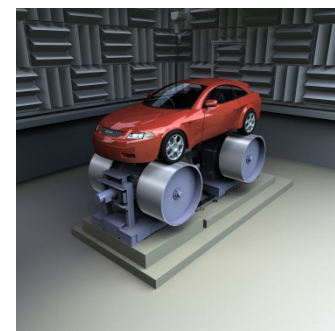


主な製品・サービス: 真空コンデンサ、パルス電源、産業用コンピュータ等
各種電子機器

産業システム事業分野

単位：百万円

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
受注高	23,168	30,300	7,132
売上高	18,190	23,868	5,677
営業利益	△1,069	434	1,503
設備投資額	593	638	44
減価償却費	800	747	△52
研究開発費	966	1,012	46



【受注】【売上】

- ・我が国の経済の回復傾向や設備投資の増加基調を反映し、産業分野全般で堅調
- ・エレベータ用モータや半導体製造装置向け単品機器が堅調に推移
- ・2014年度の動力計測事業関連において多少下期へのずれがみられるが、EV関連は順調に推移

【営業利益】

- ・受注高増加により操業度も改善し、黒字転換

エンジニアリング事業分野

主なお客様: 主に当社製品納入のお客様



主な製品・サービス: メンテナンス(保守・点検)、設備の高寿命化、
余寿命診断、活線診断

エンジニアリング事業分野

単位: 百万円

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
受注高	16,781	16,997	216
売上高	8,827	9,327	500
営業利益	△1,031	△968	62
設備投資額	110	96	△13
減価償却費	86	91	5
研究開発費	76	78	2

【受注】【売上】【営業利益】

- ・厳しい価格競争が続いているが、メンテナンス需要の高まりにより増収・損益改善
- ・分社化し事業再編の成果が軌道に乗り始めた



セグメント別状況

13/16

不動産事業分野

単位:百万円

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
受注高	1,643	1,644	1
売上高	1,642	1,643	1
営業利益	589	637	48
設備投資額	14	4	△9
減価償却費	437	434	△2

その他の分野

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	対前年増減
受注高	11,678	10,125	△1,552
売上高	11,554	9,571	△1,982
営業利益	276	20	△255
設備投資額	84	165	81
減価償却費	137	107	△29
研究開発費	25	45	19

2014年度 連結業績予想

14/16

単位：百万円

	2013年度	2014年度
受注高	232,366	240,000
売上高	216,176	230,000
営業利益	9,546	10,500
経常利益	7,790	9,500
当期純利益	6,580	6,000
設備投資額	9,249	9,600
減価償却費	8,538	8,900
研究開発費	9,090	10,900

セグメント別売上高・営業損益予想

15/16

単位:百万円

		2013年度	2014年度
社会システム	売上高	130,724	140,000
	営業利益	5,633	6,000
産業システム	売上高	51,440	59,000
	営業利益	1,557	2,800
エンジニアリング	売上高	29,122	28,000
	営業利益	1,965	2,100
不動産	売上高	3,285	3,300
	営業利益	1,229	1,200
その他	売上高	24,354	23,000
	営業利益	848	700
全社又は消去	売上高	△22,751	△23,300
	営業利益	△1,686	△2,300
合 計	売上高	216,176	230,000
	営業利益	9,546	10,500

注意事項

本資料に記述されている業績ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含みます。

そのため、実際の業績は当社の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

新しい時代を元気にします

Empower for new days